

※2009年 2月改訂  
(第3版 販売名変更に伴う改訂)  
第4類アルコール類  
水溶性 危険等級Ⅱ  
貯法 : 密栓し室温保存  
火気を避けて保存  
使用期限 : 3年 (ラベル等に記載)  
注意 : 「取扱い上の注意」参照

外皮用殺菌消毒剤  
イソプロパノール消毒液  
70% 「カネイチ」※  
ISOPROPANOL DISINFECTANT SOLUTION  
70% 「KANEICHI」

日本標準商品分類番号	
872615	
※承認番号	22000AMX02310000
※薬価収載	2008年12月
販売開始	2009年 2月
再評価結果	1983年 4月

**【禁忌】** (次の部位には使用しないこと)  
損傷皮膚及び粘膜[損傷皮膚及び粘膜への使用により、  
刺激作用を有する]

**【組成】**

本品100mL中、日本薬局方イソプロパノール (C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O) 70mLを含有する。

**【性状】**

本品は無色澄明の液で、特異なおいがあり、揮発性である。

**【効能・効果】**

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒

**【用法・用量】**

通常、イソプロパノールとして50～70%液を用いる。

**【使用上の注意】**

- 重要な基本的注意
  - 眼に入らないよう注意すること。入った場合には、直ちに水でよく洗い流すこと。
  - 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること (イソプロパノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある)。
- 副作用  
次の様な症状があらわれた場合には使用を中止すること。

	頻度不明
過敏症	発疹等
皮膚	刺激症状

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

- 臨床検査値への影響  
注射部位に発赤 (出血) を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。
- 適用上の注意
  - 投与経路 : 外用にのみ使用すること。
  - 使用時
    - 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
    - 本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これ

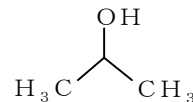
らが付着している医療機器等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。  
3) 本剤は、引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。また、電気メスを使用する場合は、乾燥させてから使用すること。

**【薬効薬理】**

本剤は消毒用としてエタノールの代わりに用いられ、微生物のたん白質を変性凝固させて殺菌作用を示す。本剤は栄養型細菌 (グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効だが、芽胞 (炭疽菌、破傷風菌等) 及び一部のウイルスには殺菌作用は期待出来ない。<sup>1)</sup>

**【有効成分に関する理化学的知見】**

一般名 : イソプロパノール  
化学名 : 2-propanol  
構造式 :



分子式 : C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O

分子量 : 60.10

性状 : 本品は無色澄明の液で、特異なおいがある。本品は水、メタノール、エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。本品は燃えやすく、揮発性である。

比重 : d<sub>4</sub><sup>20</sup> 0.785～0.788

沸点 : 82.4℃

引火点 : 11.7℃

(第4類アルコール類 水溶性 危険等級Ⅱ)

安定性 : 通常の実験条件においては安定

**【取扱い上の注意】**

- 金属器具を長時間浸せきする必要がある場合には、腐食を防止するために0.2～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
- 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には変質するものがあるので、長時間浸漬しないこと。
- 遮光した気密容器にいれ、火気を避け、室温で保存すること。
- 開封後は速やかに使用すること。
- 使用前及び使用後は容器の口を清浄にし、使用後は密栓すること。
- 容器のラベルをよごしたり、又は他の容器に入れ替えないこと。

### ※安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、3年間〕の結果、外観、含量等はすべて規格の範囲内であり、イソプロパノール消毒液70%「カネイチ」は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。<sup>2)</sup>

### 【包装】

500mL、2L、5L、10L、18L

### 【梱包】

500mL×20本入、2L×6本入、5L×3本入、10L×2本入、18L×1本入

### 【主要文献】

- 1) 第16改正日本薬局方
- 2) 兼一薬品工業株式会社、社内資料

### 【文献請求先】

兼一薬品工業株式会社 医薬情報室  
〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3丁目5番23号  
TEL 06(6471)3548 FAX 06(6471)5659

### 【製造販売元】

兼一薬品工業株式会社  
〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3丁目5番23号